

# 高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School

東海大付属高輪台高等学校同窓会会報  
(第5号)

発行所：東海大付属高輪台高等学校同窓会  
〒108-8587東京都港区高輪2-2-16  
Tel:03-3448-4011, Fax:03-3448-4020



「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

## いとし会開催される 50歳以上を中心に130名

1999年度「第2回高輪会総会・懇親会」が盛況の内に催された後、2000年度の同窓会活動を如何にするか役員会の中で種々検討を重ねました。その結果、母校を巣立って三十有余年「人生五十歳」を節目とした同窓生にお集まりいただき『親交を新たにするとともに母校の発展した現状を見ていただく』とともに役員に偏りがちな活動を脱皮し、役員以外の同窓生を主体とした『実行委員会』を作り役員会は側面援助することを企画いたしました。会の名称も五十歳にちなんで「いとし会」とし、昭25卒～昭41卒まで23名の発起人を基に、永年にわたり母校の教頭を勤められた故伊藤克雄先生のご子息で第三回卒業生の伊藤信雄氏を委員長に実行委員会を組織し活動を開始しました。当初は高輪会主導の様相が強かった委員会も、回を重ねる毎に協調の輪ができ「いとし会」当日の進行、恩師との触れ合い・現役生徒との交流等々、議論百出の活況となり、終盤では各期同窓生の掘り起こしを競うほどにもなりました。

これらの活動を経て、12月12日に恩師・学校関係者・同窓生、約160名の方が参集し「第一回いとし会」が開催されました。当日は、高輪会会長・実行委員長・渡辺修校長・小浜後援会長・前田勝介元校長に続き、松原健次先生からは母校変遷の状況、杉一郎教頭から現況紹介の後、吹



奏楽部の華麗な演奏をもって式典を完了しました。

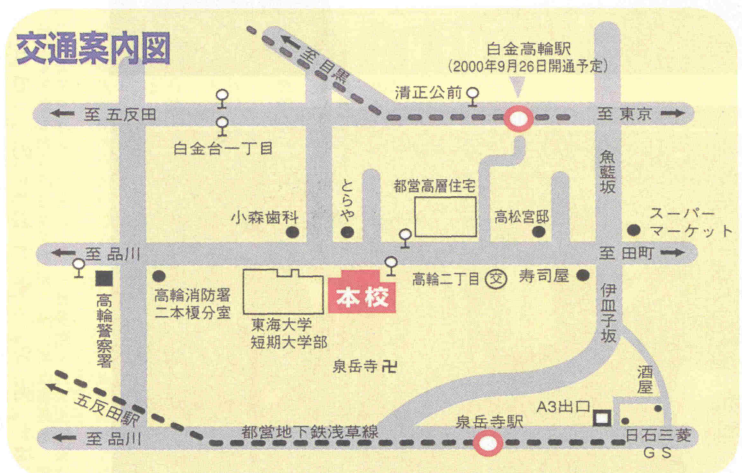
各期記念撮影の後、懇親会へと移り一転した賑やかな雰囲気の中、各所に話の輪ができ恩師・同窓生とも親交を深めることができました。また、学校当局の好意により「創立55周年記念誌」が出席者に贈られました。年が明けて2月に実行委員会が開かれ「いとし会」の反省と再会を誓って、委員会解散式を行いました。

追伸：いとし会当日の様子は、ビデオにて収録されておりますので、閲覧希望の方は高輪会事務局までお問い合わせください。

### 学校説明見学会のご案内 [同窓生のお子さんの来校を歓迎します]

本校では、進学希望者に学校を理解していただくため、随時、学校見学や進路相談に応じています。また、オープンキャンパス、建学祭、学校説明会を下記のとおり開催いたしますので、同窓生のお子さんはもちろん、進学をご検討されているお知り合いの方にご案内ください。

- ・オープンキャンパス  
2001年7月7日(土) 10時～15時
- ・建学祭(文化祭)  
2001年10月13日(土) 10時～15時  
2001年10月14日(日) 10時～15時
- ・学校説明見学会  
第1回 2001年10月7日(日) 10時～15時  
第2回 2001年10月27日(土) 10時～15時  
第3回 2001年11月10日(土) 10時～15時





## 第1回 いとし会を終えて

いとし会実行委員長  
伊藤 信雄

昭和21年第一回卒業生を送り出して、今日迄54年この間我等の学園を巣立った者は約20,000名総ては実社会にあって、それぞれの持ち場に於いて、活躍し努力精進を、続けて居られる事と思います。

母校創立55周年に当り新校舎完成と旧東海同窓会が「高輪会」として1995年に新発足した事も併せ、昨今の私学の困難な時期に当り同窓生の皆様には我々の母校の発展に是非御協力を頂き度く思うと同時に、将来の同窓会活動の基を築く事が出来れば幸いとの願いを込めて、20数名の実行委員会の方々と、半年間に亘り種々検討の結果「いとし会」の名の下に、平成11年12月12日に式典及懇親会を挙行致しました。当日は旧恩師及び多くの同窓生の皆様方の御参加を頂き、又、吹奏楽部の在校生の応募も有り、盛大に催す事が出来ました。

実行委員会を代表して、紙面をおかりして、各方面の方々に、深く御礼申し上げます。

御出席された方々より、毎年一回は同様の形で、同窓生が集まれる行事を考えたらとの有難いお言葉も頂戴致し、皆で次回の再会を約し散会した。

同窓生の皆様で懇親会の名案がございましたら、積極的に事務局迄、御連絡頂けましたら幸いです。



高輪会会長  
上島 弘安

## 第1回 いとし会を終えて

今、「いとし会」での資料をもとにこの原稿を書いています。本校の創立は、太平洋戦争末期1944年（昭和19年）電気通信工業学校（高輪）と電波工業学校（中野）の同時開校で始まり、1945年（終戦の年）両校が合併し東海工業学校（高輪）さらに東海高等学校・東海電波高等学校となり1968年（昭和43年）高輪台高等学校と改称され今日に至っている。

この間、卒業生の年度別人数を見ると最小は1953年（昭和28年）全8定14合計22名、最大は1991年（平成3年）全527名に増加している。卒業生総数18942名にまで発展してきた。学校と言うにはあまりにも小規模な時代があり、苦しい経営を経験し多くのドラマが存在したに違いない。

現在、明るく活動的な生徒、立派になった校舎を見ると苦難の時代を支えてきた先生方の面影が眼前に浮かんでまいります。

卒業後、それぞれへと巣立つと自分の生活に追われて母校へは足が遠のいてしまいがちです。そのうえ工業から普通科へ男子校から共学へ目まぐるしい変化が学校に顔を出しにくくしているのではないのでしょうか。今回の「いとし会」は長年学校から遠ざかっていた方々が母校を知る機会と仲間との出会いのきっかけになればと思い企画しました。

スクリーンに映し出された懐かしい旧校舎、現役生徒とによるすばらしいプラスバンド演奏、校舎見学、旧友達との懇談等予定された時間が足りないほど充実した内容であったと自負しています。今回都合で参加出来なかった方々も次回には是非参加して下さい。すばらしい出会いが待っていることと思います。

初めての企画であり何をどのように運営して行けば良いのか分からず東海大相模高校のホームカミングデイに参加し参考にさせて戴きました。またリストラの嵐が吹きすさぶなか、各期から実行委員の協力をいただき運営に参加して頂いたことが今回の成功の基礎になったと感謝しています。

しかし連絡が出来ない年度もあり組織の脆弱を感じさせられました。各期の代表者の集まりである幹事会の充実こそが今後の課題であると思っています。

末筆ながら協力をいただいた学校、後援会、現役生徒の皆様にお礼を申し上げます。



## 1999年度活動報告

1999年度 収支決算書  
(1999年4月1日～2000年3月31日) (単位:円)

収支	科目	予算	決算	備考
収 入	1. 前年度繰越金	1,573,577	1,573,577	
	2. 入会金	4,445,000	4,450,000	10,000円*446名
	3. 維持会費	200,000	1,762,000	いとし会実施に伴う増収
	4. 特定預金繰入	0	0	
	5. 預金利息	10,000	3,786	
	6. 雑収入	200,000	0	
合 計		6,433,577	7,799,453	
支 出	1. 会議費	200,000	258,831	役員会食事代 (いとし会含む)
	2. 広報費	300,000	70,000	会報発行関係・他
	3. 渉外費	300,000	175,000	連合会会費・総会参加費
	4. 印刷費	1,000,000	1,057,513	会報・他
	5. 通信費	1,400,000	1,217,209	会報送料他
	6. 旅費交通費	300,000	157,600	連合同窓会・他
	7. 用品費	30,000	0	
	8. 事務雑費	20,000	0	
	9. 補助費	200,000	107,060	
	10. 記念品費	300,000	289,800	卒業記念品 (証書ホルダー)
	11. 特定預金	2,000,000	2,000,000	名簿代積立分、会費前払い分、他
	12. 雑費	200,000	102,720	
	13. 次年度繰越金	183,577	2,363,720	
合 計		6,433,577	7,799,453	

1999年度 特定預金 (単位:円)

項 目	金 額
前年度よりの繰越額	8,000,000
今年度組入	2,000,000
合 計	10,000,000

監査の結果、収入、支出の各項目について、収支計算は校正妥当なものであることを認めます。  
2000年4月22日

会計担当 松原健次

監査役 加藤慶男  
森 公法

2000年度 収支決算書  
(2000年4月1日～2001年3月31日) (単位:円)

収支	科目	予算	備考
収 入	1. 前年度繰越金	2,363,720	
	2. 入会金	4,580,000	10,000円*458名
	3. 維持会費	50,000	
	4. 特定預金繰入	0	
	5. 預金利息	4,000	
	6. 雑収入	0	
合 計		6,997,720	
支 出	1. 会議費	200,000	役員会食事代、他
	2. 広報費	200,000	会報発行、広報費、他
	3. 渉外費	300,000	連合会会費、他
	4. 印刷費	1,200,000	会報 (800,000円)、案内状、封筒等
	5. 通信費	1,400,000	会報送料、はがき代、他
	6. 旅費交通費	400,000	連合同窓会・他
	7. 用品費	30,000	
	8. 事務雑費	10,000	文房具他
	9. 補助費	200,000	懇親会等
	10. 記念品費	300,000	卒業記念品 (証書ホルダー)
	11. 特定預金	2,700,000	名簿代積立分、会費前払い分、他
	12. 雑費	50,000	
	13. 次年度繰越金	7,720	
合 計		6,997,720	

2000年度 特定預金 (単位:円)

項 目	金 額
前年度よりの繰越額	10,000,000
今年度組入	2,700,000
合 計	12,700,000

## 2000年度活動計画

2000年度は、次の活動を計画している。

### ■東海大学高等学校連合同窓会 (第四高等学校)

設立25周年記念の東海大学高等学校連合同窓会が第四高等学校 (札幌) の主催で平成12年10月7日から8日まで開催される。高輪会から役員を中心に5名程度が参加することとした。連合同窓会は、全国の付属高校が幹事校を交代しながら毎年開催されている。

### ■名簿発行準備

高輪会名簿は3年ごとに更新して発行されており、希望する会員に販売するとともに、この3年間に入会した新会員に無料配布される。2001年に新名簿の発行を計画しているため、このための発行準備を進めることとした。

### ■高輪会会報 (第5号) 発行

高輪会会報 (第5号) は本来8月発行を予定しておりましたが、諸事情により遅れることとなりました。今回初めての事ではありますが、お詫び申し上げます。なお、2001年度 (第6号) は、総会案内を掲載して夏頃に発行される予定です。

### ■2000年度事業計画 (2000年4月1日～2001年3月31日)

2000年	4月	役員会 (4/22)
	5月	いとし会との合同役員会 (5/28)
	7月	いとし会実行委員会 (7/15) 役員会 (7/15)
	8月	第5号会報発行
	9月	いとし会実行委員会 (9/9)
	10月	連合同窓会 (7日・8日)
	11月	役員会 (11/18)
2001年	1月	役員会 (1/20)
	3月	同窓会入会式・新幹事との懇談会 (1日)



## 東海大付属高輪台高等学校の 近況のご紹介

共学化から3年目を向かえ、2000年度には全学年が男女共学になりました。

新校舎を活用した活発な教育活動が実践され、受験生の人気もレベルも非常に高いそうです。その学校の活動や成果について、近況をご紹介します。教頭補佐の前田博夫先生をお訪ねしている先生・生徒の様子をご紹介します。記事の作成には学校発行の「飛翔」を引用させていただいています。



### 吹奏楽部が全日本でグランプリ受賞

全日本高等学校吹奏楽大会が11月11日にパシフィコ横浜で開催され、本学吹奏楽部がみごとグランプリを受賞した。「全国大会」でのグランプリ受賞は本校の歴史においても特筆すべき快挙である。吹奏楽部を指導して7年目という顧問の畠田貴生先生は、吹奏楽部創立から懸命に活動が続けてきたOBの努力を強調し、温かく見守ってくれた教職員・生徒達・父兄らに感謝する。1・2生は、引退した3年生から「果てしない夢を一つ一つ現実のものにする勇氣」を学んだという。部員が自分たちで作った部訓は「自分に

自身、友に信頼、人に感謝」。今後の活躍も楽しみなクラブである。

### 柔道で国体参加

第55回国民体育大会秋季富山大会に、柔道少年男子団体の東京都代表として、本校柔道部佐藤陽介君が出場した。応援には本校の教員3名とともにOB父母や学生も加わり賑やかな応援団となった。優勝候補の筆頭にあげられていた東京代表は順調に勝ち進み3年連続の優賞に輝いた。佐藤君も活躍し、準決勝での素晴らしい体落としでの一本勝ちらは場内をどよめかせた。

### ●第32回剛健旅行をコース変更して実施

2000年7月17・18日に群馬県嬭恋村において、第32回剛健旅行が開催された。民家の密集した干俣地区を迂回する新しい幹線農道がを利用してコース変更した。村里を避けたコースに変更により、深夜に歩く生徒の声を気にする住民にも配慮された。この結果、距離が3km伸びて39.5km

となった。また、女子はバラギ湖を通る風光明媚なコースとし、距離も16kmから20kmに延ばした。実施にあたっては、救護所の設営、道路標識などのコース管理、新コースの地元説明、長時間に対応した指導職員の交代、等、担当の先生が万全を期して望んだ。実施の結果、地域住民からの苦情は全くなく、完歩した生徒の割合は99%を越えた。(実行委員長 江口淳二先生)



### ●英語コミュニケーション能力の向上

英語学習が単なる語学教養としてだけでなく、国際性豊かな人間教育の機会とするを目的とした授業を行っています。1クラスを2グループに分け、それぞれ外国人教師と日本人教師とのチームティーチングにより授業が進められます。少人数の授業が全て英語で行われるため、リスニング・スピーキングを中心とした実践的コミュニケーション能力の育成に大きな効果を上げています。また、生徒全員に実用英語技能検定試験の受験を義務づけ、高校在学中の英検2級・準2級の取得を目指しています。

コンピュータを用いたCAI授業も効果を上げています。

### ●「学校説明会」に3,500名

2000年10月に行われた「学校説明会」に3日間で合計3,532名の受験生・保護者が来校した。この数は昨年の約2倍である。説明会の内容も受験生や保護者の立場にたったものへと改めた。たとえば、大学教授の講演をやめて生徒の体験談から体験学習まで、本校の目指す教育は本校の生徒の様子が一目できるようにした。中でも吹奏楽部の演奏や生徒の体験談には熱心に耳を傾けていたのが印象的だったという(教頭 杉一郎先生)。



## 高輪会の皆さんへ

新学校長  
遠藤 國正

私は2000年4月から高輪台高校にお世話になっております。以前は静岡県清水市にありました東海大学工業高校に33年間、1999年4月に東海大学第一高校と工業高校が統合された東海大学付属翔洋高校に1年間、合計34年間清水市で勤務をしてまいりました。地方の学校は卒業生の仲間意識が強く同窓会そのものも大変な結束力をもっております。歴史ある二つの学校の同窓会の統合には難しい問題がたくさんありましたが、今では多くの問題も乗り越え新しい同窓会として再出発をしています。

この高輪台に来て驚いたのは、歴史と伝統のある学校なのに同窓会誌の創刊号の発行が1996年であること、更にそ

の中に「高輪会」の命名や第一回総会・懇親会が1995年9月に開催されたことが載っていたこととあります。これまでに同級会などは行われていたと思いますが、創立から50年を過ぎ改めて第一回総会の開催と同窓会名簿の発行という一大企画が成し遂げられたこととあります。このことは、卒業生にとっても学校にとっても大変素晴らしいこととあります。しかし、歴史ある高輪台高校ですからこの仕事に携わった方々のご苦勞は計り知れないものがあったと思います。

本校も1999年度(第51回)卒業生で輩出した数も19,388名となり、今年は152名の女子を含め458名の卒業が予定されておりますのでいよいよ2万名に近づきました。

母校は母親や故郷とともに心のよりどころであります。いつまでも本校同窓生として母校を愛し後輩を慈しんで下さい。同窓会の発展は母校の発展でもあります。また、同窓会の基礎は同級生や同期会であり、それらの結束は会員の皆さんの友情に基ががあります。しかし役員の方々の奉仕と努力がなければ纏まるものではありません。役員の皆様の一層の努力と会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

## ユニークな授業

### ●体育集中授業(2年次)

夏にはテニス・ゴルフ・登山キャンプ、冬にはスキーと、日頃の都会生活の中では体験できない自然の中でのスポーツを存分に楽しむことのできるのが、この体育集中授業です。2年次には2泊3日で行われ、生徒は自分の好きな種目を選んで参加することができます。それぞれの種目の技術向上のみならず、団体行動を通じて協調性、自立性を養うことも目的です。

### ●体験留学(3年次)

付属高校のメリットを最大限に生かし、高校3年次の後期に、東海大学・東海大学短期大学部への国内留学、ハワイ東海インターナショナルカレッジへの海外短期留学を実施し、実際の大学の授業を受けたり、語学力強化のためのプログラムを受講することができます。また、「科目等履修生」として高校在学時に大学の単位を取得することも検討されています。



### ●「飛翔」の発行

「飛翔」発行付属高輪台高校の研究部がほぼ毎月発行している「飛翔」には、学校行事や記録を始め、学校の取り組み、生徒の反応、学園生活の様子が詳しく紹介されている。ここでは先生が質問に答えるコラム「高輪台Q&A」より紹介する。

Q: 部活から帰ってくると、疲れてすぐ眠ってしまい家庭学習をほとんどしていません。他のお子さんはどのようにしているのでしょうか。

A: もし、あなたが1年生ならば「くじけないで頑張りなさい!」夏休みが過ぎて涼しくなるころには体力もついて

きて、2・3年生と同じ練習をしても大丈夫な体になってきますから。もし、あなたが2・3年生ならば「ふざけるのもいい加減にしないさい!」好きな部活動をやらせてもらっているのに、勉強面で親に心配をかけてはいけません。「疲れていないだろ!」と言っているわけではありません。「そのくらいの疲労は克服する力があるのに、サボっているんじゃないか?」上級生としてのプライドはないのか?と、問いかけているのです。部活動を「勉強をサボる言い訳」にしてはいけません。





# おしらせ

同窓会活動のご案内です。お申し込み、お問い合わせは、同窓会事務局（学校内）までお願いします。

## 第3会高輪会総会の予定

高輪会では3年ごとに総会を開催し役員の選出等を行っています。2001年は、第3回高輪会総会を開催いたします。開催日等の詳細は次号でご案内いたしますが、2001年10月中旬を計画しております。この機会に、素晴らしくなった母校をご訪問いただき、お誘い合わせの上、総会にもぜひご出席ください。

## 会費納入のお願い

会員の皆様には維持会費の納入をお願いいたします。1年分（2千円）から5年分（1万円）まで受け付けております。会費納入者の確認は7ページをご覧ください。

同封の振込用紙をご利用ください（手数料振込人負担）。※氏名とともに、卒年または会員番号（封筒宛名に記載）をご記入ください。

## 高輪会「会員名簿」発行

同窓会の会員名簿は3年ごとに発行していますが、今年（2001年）は更新発行の年にあたります。新会員の皆様には入会金をいただいておりますので、卒業後最初に発行される会員名簿を寄贈する事となっています。（3年前の卒業生まで）

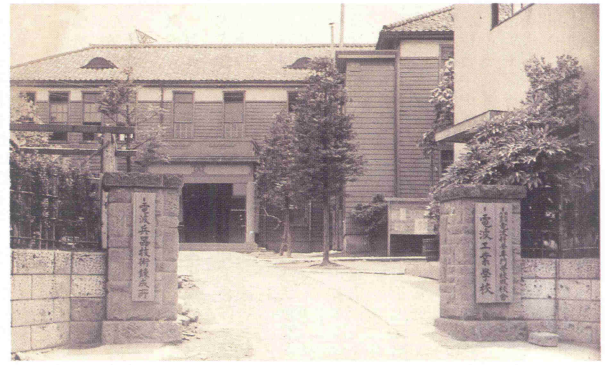
また、ご希望の会員に販売いたしますので、別途送金されている業者の返信ハガキをご利用ください。名簿には先生方も掲載しておりますが、住所が不明の方もおられます。先生やお友達の住所等について、情報を事務局までご連絡いただければ幸いです（恐れ入りますが、郵便かFAXをご利用ください）。

## 編集後記

この会報は本来2000年8月に発行を予定していたのですが、同窓会名簿等総てをお願いしていた会社が倒産したため、大幅な遅れとなってしまい年度内発行が出来なくなりました。ここに遅れましたことをお詫び申し上げます。つきましては、記事が1999年度の内容と2000年度の内容、さらに一部2001年度の内容まで記載され広い範囲にまたがってしまいました、年度の把握に戸惑うものと想像いたしますが、

その辺を確認のうえご覧ください。また、この会報は6月には発行できたのですが、この後すぐに2001年度の会報が発行されますので、郵送料を節約する意味で2001年度の会報といっしょに送付することにいたしました。尚、作成・配布は2001年度になりましたが、あくまでも2000年度会報なので発行日は2000年度末の3月31日にしてありますことをご了承ください。

## 高輪写真館



1944年、電波工業学校（中野）



1948年、東海高等学校（高輪）



1960年、仮設校舎・グラウンド

## 高輪会（東海大付属高輪台高等学校 同窓会）事務局

〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16

Tel:03-3448-4011, Fax:03-3448-4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>